

# 将来に向けたまちづくりと堅実な財政運営を



清風クラブ  
ひらま まさじ  
平間 正治

## その他の質問事項

### ▼職員の育成と適正配置について

#### ◆今後の市政運営の方向性は

**問** 市では、これまで様々な施策を進めてきたが、今後の人口減少社会を見越し、これらに対応できる方向に舵をきるべきという考えもある。市長はどのように考えるか。

**答** 将来においても選ばれる地域を目指し、今の施策を推進していく。

#### ◆市長の目指す街の具体的なイメージは

**問** これまで街づくりを進め、現在4期目となっているが、市民の皆さんには目指す街の具体的なイメージが湧かないという声もある。具体的なイメージとは。

**答** 田園と都市の調和がとれ、活力ある住みやすいふるさとを展望している。

#### ◆今後、健全な財政運営を維持できるか

**問** 平成30年度当初予算

は274億円の大型予算となった。最近でも26年度が280億円、27年度が274億5千万円と大規模である。更に、今後においても新体育館建設をはじめ多くの建設事業等が見込まれている。

**問** また、貯金である財政調整基金も今後35年度までに21億円を取り崩す予定であり財政の健全性が危惧される。身の丈に合った財政規模としていくべきではないか。

**答** 平成32年度までは大型ハード事業が集中するため、財政調整基金を取り崩しながらも一定の残額を確保できるよう努める。また、今後も財政の健全性に留意していく。



将来の街並みは？

# 高ボッチ高原にロープウェイを



市政同志会2015  
しのひろ としひろ  
篠原 敏宏

## その他の質問事項

### ▼小坂田公園サウンディング型市場調査について ▼レザンホールを通じた文化事業について

#### ◆観光と保護の両立を

**問** 高ボッチ高原を観光資源としてどう評価し、観光と環境保全はどう整合させていくか。

**答** 日本一の富士山撮影スポットなど観光資源としてのポテンシャルは非常に大きい。一方で八ヶ岳中信高原国定公園として自然保護の面では憂慮すべき点がある。今後、「環境管理ガイドライン」を策定し、高原全体を管理していく。

**問** 観光活用と環境保全の両立のために車両規制とロープウェイ導入を提案したい。

**答** ロープウェイは、発着点になる片丘地域の活性化も期待されるが、自然公園法など法的な制限や大きな費用がかかるなど課題も多い。高ボッチのポテンシャルを最大限生かす方法として環境保全と観光誘客と両面から研究すべき課題と考える。



大きな観光ポテンシャルを持つ高ボッチ山

#### ◆「小さな拠点づくり」を計画に

**問** 国が推奨する「小さな拠点」は、コンパクトシティのカウンターバランスで中山間地域の存続のために絶対必要だ。五次総第2期中期戦略にも現在策定中の立地適正化計画にも、この言葉が出てこないが、なぜか。

**答** 立地適正化計画の中の「農山村地域の活性化」が小さな拠点づくりと同趣旨である。なお「小さな拠点」については、今後策定する予定の「地域再生土地利用計画」で盛り込むことになろうが、その場合の足かせにならないよう現在は計画に入っていない。